

(別紙)

「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム～暴力暴言根絶～」

岡山県社会人バスケットボール連盟では、JBAが推進する「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム～暴力暴言根絶～」を尊重し、県内主催大会における当該行為は、コーチのみならず、選手、観客、ゲーム外においても同様に扱います。

○クリーンバスケット（コート外でのあり方）

施設の利用については、社会人としてふさわしい振る舞いを行い、施設、近隣の地域の方にご迷惑がからないようにお願いします。

[ふさわしくない行為]

- ・施設管理人に対する威圧、暴言
- ・大会役員等に対する威圧、暴言
- ・ゴミを捨てて帰る
- ・シューズのまま屋外へ出る
- ・喫煙マナーを守らない 等々

○クリーン・ザ・ゲーム（コート内でのあり方）

現状として、日本スポーツ協会に寄せられる暴言や暴力に関する苦情件数は、バスケットボールが最も多いとされています。

岡山県社会人バスケットボール連盟主催大会においても、試合中の審判の判定や相手チームに対する挑発行為などが時折見られます。暴言等でゲームを尊重する精神に反する振る舞いについては、JBAプレーヤーコーディング・ガイドラインに沿ってテクニカルファウルあるいは、著しくスポーツマンシップの精神から逸脱している行為と判断したものは、ディスクォリファイングファウル（退場）として対処していきます。

当然に、これらを超越するような暴言や暴力に対しては、厳格に対応していきます。

具体例としては次のような内容です。（あくまで一例です。）

- ・威嚇や挑発行為
- ・継続的もしくは大きなジェスチャーなどで、ゲームに対して異論を表現すること
- ・不適切な表現や言語
- ・用具・器具を破損する恐れがある行為
- ・コーチが選手（自チーム、相手チーム）に対して、人権・人格・身体的特徴・自尊心等を否定する暴言・暴力的行為
- ・ゲームの手続き上の規則、運営・管理に関して違反すること

「クリーンバスケット、クリーン・ザ・ゲーム～暴力暴言根絶～」への御理解と御協力をお願いします。